

平成30年度 第2回 豊見城市総合教育会議 議事録

1 開催日時 平成30年11月16日(金) 午後2時40分から

2 開催場所 豊見城市役所 3階 庁議室

3 議 事

(1) 豊見城市教育施策について

4 出席者

[構成員] 市長 山川 仁 教育委員 荷川取 幸代
教育長 照屋 堅二 教育委員 安里 基
教育委員 国吉 昇 教育委員 惣慶 貴子

[関係者] 教育部長 濱里 和宣 学校施設課長 国吉 有貴
生涯学習振興課長 上地 五十八 文化課長 當銘 純治
学校教育課参事 大湾 悟 福祉健康部長 當銘 健
保育幼稚園課長 比嘉 豊 保育幼稚園課参事 奥濱 真一

[事務局] 学校教育課長 赤嶺 太一
学校教育課総務班長 大城 竜也

◎ 会議の要旨

<p>学校教育課長</p>	<p>皆さん、こんにちは。本日はお忙しい中、ご出席いただきまことにありがとうございます。それでは、今年度、平成30年度第2回目の豊見城市総合教育会議を進めていきたいと考えておりますが、まずお配りしている資料、次第の要旨と、豊見城市総合教育会議のあらましということで資料が配られているかと思っておりますので、ご確認いただけたらと思っております。会次第に従いまして進めていただくこととなりますが、基本的に総合教育会議については記録をとって公表していくこととなりますので、ICレコーダーで録音させていただきたいと考えております。また、今回、この総合教育会議につきましては、教育委員会が事務局となっておりますが、市長部局から補助執行という形で、市長の手下として今回事務局となっております。市長が主催して、会議を進めることとなっておりますので、これから先の進行につきましては、山川新市長からの進行をよろしく申し上げます。</p>
<p>議長(市長)</p>	<p>皆さん、こんにちは。どうもすみません、先ほど、いろいろと立て込んでいまして、遅れたことには大変申しわけございませんでした。また、本日はお忙しいところ、第2回の豊見城市総合教育会議にご参加いただき、誠にありがとうございます。日ごろから、本市の教育行政の推進、そして格別なるご理解とご協力を賜り、心より感謝を申し上げます。</p> <p>また、議事に入る前に、改めて総合教育会議の概要について、事務局から説明をいただきたいと思っておりますので、どうぞよろしく願いいたします。</p>
<p>学校教育課長</p>	<p>学校教育課長の赤嶺から説明させていただきます。</p> <p>別添資料1、豊見城市総合教育会議のあらましということで、かいつまんで説明させていただきたいと思っております。概要といたしましては、平成26年に地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律が施行されまして、市長と教育委員会の連携の強化を目的とした総合教育会議が設けられることとなっております。それに基づきまして、本市においての、市長と教育委員会が十分な意思疎通を図り、地域教育の課題やあるべき姿を共有して、より一層民意を反映した教育行政の推進を図るために「豊見城市総合教育会議」を設置しているところでございます。</p> <p>この総合教育会議につきましては、2番目ですけれども、豊見城市総合教育会議に関する規定というものに基づきまして設置がされてお</p>

	<p>ります。大枠のところ、大綱で、これから下のところで説明していき たいと思っておりますが、所掌事務につきましては、教育大綱の策定に 関する協議、これは策定されておまして、この資料の6ページに教 育大綱がありますので、後でご確認いただけたらと思います。イとい たしまして、教育を行うための諸条件の整備その他の地域の実情に応 じた教育、学術及び文化の振興を図るため重点的に講ずべき施策につ いての協議ということであります。教育全般にかかって、重大な話し 合うべき事項に関しては所掌事務となっております。ウの児童、生徒 等の生命又は身体に現に被害が生じ、又はまさに被害が生ずるおそれ があると見込まれる場合等の緊急の場合に講ずべき措置についての協 議、これはおおむね、いじめ対策基本法に基づいたもの、今回この法 律の改正自体も、大津市のいじめ事件を経緯として改正が行われて、 こういう内容になっています。あと、アからウに掲げる事務の調整と いうことで、大枠としては大きな柱からいじめ問題ということにつ いて、市長部局、市長と教育委員会が協議する場となっているところ でございます。したがって、市長、教育長、教育委員4名が構成メ ンバーになっているということでございます。この会議につきましては は、市長が招集する形になっておまして、場合によっては関係者につ いて出席を求めたりすることができますし、この会議については、 先ほど申し上げましたとおり公表することになっております。議事録 についても作成をしていく形になっております。</p> <p>では次のページをおあげください。豊見城市の教育大綱について は、先ほどのページにあるということなので確認いただけたと思いま す。これまでの会議が列記のとおり書かれておまして、おおむね平 成27年度第1回豊見城市総合教育会議、平成28年1月29日に開催され ておりますので、そこから9回、3ページの9番目の平成30年度第1 回豊見城市総合教育会議まで9回開催されておまして、いじめに関 する案件や教育大綱の策定、去年度来ずっと取り組んでおります幼稚 園の認定こども園化のものがこれまで話し合われているところでござ います。今回は、特に市長が変わられて、山川新市長初めての総合教 育会議ということでございますので、議題としては、豊見城市の教育 施策について、市長の思いを語っていただきまして、そのことでの主 題、テーマとして委員会を進めて、会議を進めていこうと考えている ところでございます。概要の説明は以上でございます。</p>
議長(市長)	<p>ありがとうございます。以上がこの会議の概要でありましたが、何 か、委員の皆様方、ご質問ございませんか。よろしいでしょうか。</p>

それでは質問がなければ、本日の議題に入りたいと思いますが、議題については、今回、(1) 豊見城市教育施策についてです。議論のきっかけといたしまして、まず私のほうから所感等を申し上げさせていただければと思いますので、よろしく願いいたします。

まず、先日8日に就任させていただきました山川仁でございます。各委員の皆様方からこれからもご指導いただきながら、よりよい教育行政、また環境をつくっていかれると思っておりますが、まず初めに、皆様方もご承知のとおり、本市は緑豊かな街として進めておりますが、歴史や文化、風土等が多く残っている中で、人々を引きつける魅力あるソフトパワーがまだまだ残されております。そういった中では、もっともっと子どもたちや、もちろん我々大人がもっと、十分環境を生かせるような施策をとっていけることが重要かと思っております。その中では、やはり今回の総合教育会議の中で、皆さん方の思いを発言していただきながら、そこで教育委員会を初め市長部局で連携をとって、さらに子どもたちに充実した笑顔あふれる豊見城市がつくっていかれると思っております。私、今回、選挙を進んで、当選させていただきまして、こちらに、これから教育行政にさらに深まっていけるように、もちろん全身全霊をかけて頑張っていくわけでございますが、ワクワク、ドキドキする豊見城市をつくっていきたい。それを形にするためには、やはり一人ひとりの職員の気持ちと知恵と行動、そういった思いが一つにならないと成し遂げられないものと思っておりますので、ぜひこれを機会にそういった思いも知っていただければと思います。私の子ども政策といいますか、子どもに対する思いというのは、子どもの笑顔が輝く街づくりを重点に、スポーツや観光拠点のエリアを整備したり、そして皆さん方も新聞報道で見たかあれですけれども、津波避難ビル、津波避難機能を有した豊崎中学校の建設を、早期に実現していきたい、そういった思いとか、障害者など誰もが、もちろん学校教育もしっかりと安心できる場、施設の整備だったりとか、その中でやはり子どもたちの今までの現状を、学校現場だけに任せることではなくて、各字、自治会なり地域の方々と懇談会をしながら、今どういう状況で地域の課題があるのか、そして子どもたちのニーズがどのような方向に時代が向かっているのか、そういったことを聞く場が必要だと思っております。なので、今後、就任して、まだいろいろな思いがある中で、4年間をどのように生かしていこうかという思いの中で、今言った主な形をぜひ実現できるように努めていきたいと思っております。

その中でさらに、詳細をお話しさせていただければですが、これはとくに教育施策という思いの一つの中で高校卒業まで医療費の無料化を推進したりとか、そういった中では、中学校の医療費の無料化を、各選挙に出る方々もよく訴えていますけれども、中学校までと高校生までと、やはり無料化を謳うと、どうしても財源が一番必要になってきます。その財源をいかにどうやって豊見城市の厳しい状況の中でつくっていくか。一つ、一例を挙げますと、県の、平成30年3月に公表された県医療計画等というデータがあるのですが、それをあくまでも豊見城市の人口規模にデータを換算いたしますと、年間に5歳から14歳までが医療を受けられる人数としては、約1,300名と言われております。その15歳以上740名と統計で換算されるわけでございますけれども、そういった中では1人当たり、医療費の平均を、この県のデータの中で換算すると、年間約27万円程度だと言われております。その3割負担と計算して、1人当たり約8万1,000円が必要とされている。その人数合計を単純に掛け算しますと1億800万円程度が高校卒業まで必要な年間予算ではないかと言われておりますので、無駄を省きながら、しっかりと子どもたちが安心して学べる環境、そしてまた医療費も遠慮なく、あまり医療にかかわってはだめだと思いますけれども、健康のほうがいいですから。そういった意味では安心できる環境を一つ一つ整備していくことが大事かと思っております。あと、やはり子どもたちの今の状況、そして豊見城中学校もご承知のとおり改修作業中でありますので、中学校の皆さん、生徒方は、大分いろいろな場所で運動、部活動をしながら、でもそれでもとてもいい成績をおさめているのはもう皆様方ご承知だと思います。そういった中でも、今の中央公民館や社会福祉協議会、総合陸上競技場、公園周辺、そういったところをできるだけ再整備に近い形で取り組んでいければという思いがあります。その中では中央公民館の老朽化の問題、社協を一体化させながら屋内施設を整備したりとか、今、ウォーキングコースは、皆さん方ご承知のとおり、ただ道路に塗られているだけで、本来のウォーキングコースではないものがありますので、チップウレタンの樹脂を使ったウォーキングにやさしいコースをつくったり、いろいろ大人から子どもまで、子どもの環境を大人がしっかりと、こういう施設じゃなければいけませんということは、常に声を上げて、子どもは市の宝ですから、子どもの教育に関しては幼少時からしっかりと取り組める環境、いい環境をつくってあげることが我々の責務かと思っておりますので、そういった陸上競技だけではなくて、公園がある中で、もっと

有効活用できるような状況を、この教育施策の中にも取り入れていきながら、学校現場の中だけではなくて、さまざまな学校外の環境にも子どもたちがかわることによって、事業にもどのように影響していくかというのを考えていただければと思っております。

先ほど少し、お話しも触れさせていただきましたが、豊崎中学校の仮称ではありますけれども、建設の早期実現に向けては、平成27年度に3億2,000万円以上の一般財源での予定地が購入されています。それからいまだ建設のめどは立っておりませんが、豊崎周辺だったり、近隣に住まわれている方々は、その小学校ができます、中学校ができます、近くに病院があります、またいろいろ商業施設もありますという、近いところにいろいろな施設があって、ここに住んだら先々、老後も楽しくなるよねという思いを込めて移り住んできた方が多くいます。私のほうにも、しっかりその声が届いております。その中では、やはりしっかりと市民と約束をした思いを受けとめて、真摯に、津波避難機能を有した豊崎中学校の早期実現にも、国や県とも連携をしながら、しっかりと取り組んでいきたいと考えております。今回は、新聞報道等でも告知をさせていただきましたが、文科省のこちらのメニューがありますということで、しっかりと中学校建設に対しては対象内だという回答をいただいておりますので、ぜひ今回の回答をもらいながら、現時点での地元の方々、また周辺に住まわれている学校に通う方々の声はどこを向いているのかというものも、もちろんニーズ調査もしっかりしながら、必要であればしっかりとそういう対応も教育委員会と連携をとっていただきながら、進んでいければなと思っております。

そのほかには、最近もよく新聞報道等でも話題になっています医療的ケアの問題ですが、なかなか統計がとれない状況がありまして、やはり子どもたちは普通学校に行かせるのか、それともそういう医療的ケア児を受け入れられるような学校を、あまり沖縄は少ないと思えますけれども、那覇市は与儀のほうにあたりとか近くにあるのですが、そういったところに行かせる親だったりとか、その受け皿となれるような豊見城市の南部の中心になる最先端の街だと私は思っていますので、そういった医療を必要とする子どもたちが安心して、学校教育の授業とか、友達と遊べるような場所をしっかりと受け入れられるような教育環境の充実にも努めていきたいと考えております。さまざまな思いもたくさんあります。今日は初めてお会いして、皆様方と失礼がないように、身近にいると思いましたが、思いがたくさんいろい

ろありまして、多岐にわたるので、少し、もうそろそろ終わらないかということで、メンバー皆さんが私のほうを見ているので、そろそろ終わりにしたいのですが、あともう少しだけお付き合いをいただければと思います。すみません。

豊見城は、先ほど言ったように文化や歴史、風土がとても魅力あふれる場所で、今、空手会館もでき上がって、いろいろな世界大会で皆さん方がそこに入ってきて武道を演武して、これからオリパラに向けてさらにあそこのあの場所が、もっともっと活性化するのは間違いないと思いますけれども、ぜひ市内の小中学校の子どもたちにも、そういういい環境の場所で授業を受けてもらうとか、学校の移動手段とか、さまざまな課題はあるかもしれないのですが、学校の中だけでやることだけが授業だとは思っていません。課題が多くある中では、やはり学校現場の皆様方と教育委員会の皆様方と、シルバーだったり、さまざまな地域の方たちと連携をとりながら、子どもたちがすくすくと、どのようにしたら豊見城の街を活用して、育っていけるかをしっかりと考えていければと思います。空手会館のみならず、ハーリーの船に乗って、授業をしたりとかキャンプをしながら、美らSUNビーチで、昔で言う糸満青年の家みたいな感じで、豊見城でそういう課外授業ができたり、いろいろな自然があふれる中で、もっともっと生かせるような授業内容があったりとか、ワクワク、ドキドキするような豊見城市の子どもたちの環境ができればと思っています。ぜひ、そういったもろもろを踏まえて、また最後になりますが、この空手会館の向かいには、平和を発信する旧海軍司令部壕等がありますので、平和学習の一環で、しっかりと学校の授業の中でも取り入れているかとは思いますが、通年を通して、そのような状況もしっかりと取り入れられるような、現場の先生たち、今の私の話を聞いたらどれだけやるんだよと思うような内容ばかりだと思いますけれども、そういうものも一つ一つ、みんなでクリアして行って、何ができて何を繋げましょうと順序が一応はあると承知していますけれども、できる限り新しい時代に向かった教育のあり方をみんなで作っていただければと思いますので、ぜひ今後とも、そういう思いを酌んでいただきながら、ご協力していただければと思いますので、よろしく願いいたします。ありがとうございます。

それでは照屋教育長からも一言、教育行政の所感などをいただけましたらと思います。お願いします。

教育長

早い時期に総合教育会議を設定していただきまして大変ありがとうございます

ございます。今、豊見城の子どもたちの状況になりますけれども、学力においては、全国学力、県到達度、市学力調査、実はこの3つの調査をしています。どれも小学校においては、全国レベル、あるいは全国平均以上という結果が出ていまして、非常に学力については進んでいます。ただ中学校は、まだ全国的には並んでいないのですが、その中においても徐々に改善が見られていまして、非常にレベルアップが近いのかなと思わせるような状況が見えていまして、学力については、いずれ小中学校、全国にも追いついていくのだろうと考えています。

またスポーツにおいては、伊良波中学校が島尻大会において6連覇で優勝していますし、また全国大会においても伊良波の空手が優勝している。文化面においても、それぞれ非常にいい成績を上げているので、顕著にあらわれています。そういう中で、子どもたちの成長があるのですが、教育委員会としてのスタンスは、あくまでも学校を支援する、学校のバックアップをするものとして、私自身は考えています。ですから教育委員会が全面に出て、あれせいこうせいという内容ではなくて、学校の意向を見極めながら、いかに学校をバックアップして子どもたちのために進めるかという視点で、物事を展開しているのが今の現状です。生涯学習関係においては、青年会とかも休会という現実があります。子ども会、婦人会、本当に組織の弱体化が見られている中でも、今、頑張っている人たちを何とか助けて支援したいという思いでやっているのが現状です。またスポーツレクリエーションにおきましては、先ほども言いましたように、陸上競技場の全天候型への移行工事が行われるのも、過去に体育館の建設、そしてテニスコートの全豪オープンに似た施設としてテニスコートの建設だったり、そういうものを進めてきましたし、それなりの効果も上がっています。

国際交流の中でハワイに、これは8月、最近行ってきたのですが、ハワイ交流で成果が上げられる背景の中には、英語スピーチコンテストだったり英語キャンプだったり、中学校に英語のALTが入っていたり、小学校英語でJTEの支援があったり、そういう体制がバックボーンとしてあると、私自身はそう思っています。特に最近気になっているのは、実を言いますとフッ化物洗口になります。フッ化物洗口については、私が教育委員会に来てから、何とかフッ化物洗口を進めたいという思いでやってきました。ところがなかなか、校長、学校の同意が得られなくて、幼稚園はとよみ小学校がずっとやっていたのですが、フッ化物洗口についてやりたいという思いがあるのは、貧困対

	<p>策の一環の中で、教育委員会としては医療券というのを出しているんですね、そういう準要保護については。ところが、実態としては、行ってもらえない、使ってもらえない、親が連れて行かないという現状があって、それで私としては、フッ化物洗口をしっかりできる、そして効果が上げられるやり方としてどうなんだというときに、1週間に1回、効果が上がる状況もあって、何とか進めたいという思いで、今取り組んでいるのが現状です。フッ化物洗口については、細かい説明を担当課長から説明させます。</p>
<p>学校教育課長</p>	<p>すみません、途中ではありますけれども、今、お手元に学校現場での集団フッ化物洗口の実施についてというのでグラフがある資料を1枚お配りしているところです。見ていただけたらと思います。まず現状ですけれども、下のグラフから見ていただけたらと思います。齲歯のある者、これは虫歯のある者の割合です。小中学校で、左側のグラフ、縦2つ並んでいますけれども、上が小学校になっています。青いのが豊見城市の状況です。オレンジ色が沖縄県、灰色が全国で、折れ線グラフになっているのは、豊見城市と全国とのパーセントの差です。見ていただけるとわかりますように、やはり平成25年から黄色い折れ線グラフ、全国との差が開いていて、徐々に減少傾向にもあるのですが、全国がそれ以上に減ってきているということになっております。沖縄県は若干トータルでいうと、比較の中では悪いですが、基本的に、向かうべきは全国平均を超えることだと思っております。そういう状況の中で、虫歯がある小学生、中学生は徐々に減ってきてはいますが、やはりまだ依然として高いレベルでいるということがありますので、そういった虫歯のある児童・生徒が、全国平均以上に豊見城市にもいるという状況がありますので、一方、右側のグラフ縦2つですけれども、上が小学校、中学校ですから、これは虫歯があって、治療していない児童や生徒の数です。これを見ていただくと、徐々に黄色い折れ線の全国との平均が上がって、徐々に下がってきてはいますが、状況としてはあまり芳しくないという状況が見てとれると思います。いずれにしても全国との差がかなり、パーセントとしても10%、今は12%台、差がある状態になっております。中学校になると、これも少し若干差は狭まってきておりますが、依然として14ポイントぐらい離されていて、基本的には虫歯の対策については、学校保健の中でも、やはり就学援助の対象になっていることからわかりますように、非常に口腔衛生、虫歯については、学校衛生、保健上も大事な課題だと捉えるべきだと思っております。</p>

	<p>上のほうに戻っていただいて、フッ化物については、自然界に多く分布しているものです。ですから、よほど大量に摂らない限り基本的には安全で、フッ化物による虫歯の予防の安全性については既に国内外で多くの研究で示されていて、重要な役割を果たしております。国も口腔のケアに関する法律を制定して、その中でフッ化物の利用について、それを使って虫歯予防をしていくことが謳われているところでもありますけれども、今現在では、歯磨き指導等、学校を含めて健康推進課も含めて、幼児期からずっと指導を進めているところでございますが、やはり生まれ育った家庭観だとか、家庭環境によってそういう虫歯がある児童・生徒が生じてきている現状があります。なので、豊見城市全体として、やはり豊見城市教育委員会として果たすべき役割を果たす必要があるだろうという中で、フッ化物の洗口をしていく必要があるだろうということの取り組みを進めております。</p> <p>具体的には、平成31年度、来年度、特に選んだ学校、今、座安小学校を想定しておりますけれども、その新1年生から徐々に拡大していきながら、考えていきたいと思っております。当然この実施に当たっては、学校現場の負担がどうなのかとか、保護者の皆様のご理解を得られるかなど、課題があることも事実ではありますが、来年からの実施を通して、理解を得ながら、また実証を、基本的には経験を積み重ねることで、最終的には全小学校、できれば中学校まで広げていけるような形で考えていきたいと考えているところでございます。以上でございます。</p>
教育長	<p>すみません、ちょっと私のほうで、先週になるかな。沖教組島尻支部の執行部をやっている委員長が来ていたのですが、やはり一番危惧するのは、職員の長時間労働問題とか業務の過重の問題が大変心配でありますと話がありました。先ほどうちの課長が話をしたように、業務負担あるいは過重にならないためにはどうしたらいいかについては、一緒に話し合いをしながら進めていきたいと思っております。子どもの健康、歯の状態というのは、沖縄県は非常に悪いですから、それを調整しながら今後進めていきたいと考えています。以上です。</p>
議長(市長)	<p>照屋教育長、ありがとうございました。</p> <p>さて、本市の教育行政施策につきましては、各委員からの思いや疑問なども踏まえてご発言いただきたいと思いますと思いますが、まず、国吉委員からお伺いしてよろしいでしょうか。</p>
国吉委員	<p>はい、ありがとうございます。</p>

	<p>今、市長から本市の教育について、あるいはまちづくり、いろいろ細かく説明をいただきまして、なるほどなど。すばらしい街になるなという思いもあります。私、学校訪問をしながら、この授業の様子を見て、子どもたちが非常に私が見た中で、そして学習態度も非常によくて、火曜日でしたか、伊良波中学校の授業参観の一環ですけれども、中学2年生を2クラス見たのですが、先生の説明のときには静かに聞いて、そしてまた活動の場面では活発に、それから発言もしっかりやっていて、やはりそろっているなということを感じました。そういったものも、人的環境、それから物的環境、いろいろまたこれからそろえて、さらに住みよい豊見城市になるなということを感じているところで、あと話の、ちょっと長くなつてはいるから、まちづくりの中に、ふだん、ちらっと思うことがあって、豊見城に映画館がないなと思ったりしたことがあって、新都心とか、南風原とか、この間、南風原に映画を見に行ったのですが、そういえば豊見城にないよねと。ホテルとかもあつたり。</p> <p>それからついあわせて、フッ化物洗口の話もしていいですか。今、学校や保護者がフッ化物洗口に反対とか、あるいは懸念を持っているのは、誤解があるような気がしたんですね。フッ化物洗口をすると間違いなく虫歯にはなりにくいということは、理解しているような感じ。ただフッ化物を使っていると、真っ白な歯が、将来色が悪くなるイメージがあるということを知ったことがあるんです。教育長からの話では、週に1回ぶくぶくぺっとやるだけで、全然そういった問題はないということも聞いていますけれども、そういったことをしっかり説明して、その不安とかそういったものを取り除けば、反対もなくなるのかなと思いました。とりとめのない話になりましたが、以上、終わります。</p>
議長(市長)	<p>ありがとうございました。</p> <p>続きまして、荷川取委員の方からよろしく願いいたします。</p>
荷川取委員	<p>今、山川市長からお話を伺って、本当に住みよい街、ワクワク、ドキドキするということはとてもいいなと思いました。またその中でも、やはり地域と連携、学校現場だけではできないものを、地域と連携するという、何回もそのお話がありまして、子どもだけではなくて、親も大人もみんな一緒になってやるという、もちろんその中に障害者の件についても、一つ一つ残さずにいきますか、その話を伺って、すごい豊見城市の展望、いいなということを感じました。それか</p>

ら、施策の中に医療費の無料化の話もありましたけれども、やはり無料化、お金を使わない、その前の健康づくりといえますか、それをまた学校とタイアップしながら、家庭とタイアップしながらいかないと、医療費が無料といってもなかなかなので、健康な体を私たちがするのために、先ほどおっしゃったスポーツ面とか、そういうことをやってと言っても、施設、それから場所、そういうところがないといけないということで考えた中で、すぐ話の流れにあったということは、大変よかった、嬉しいなと思いました。

それから学校現場の多忙化のことについて、どういうところが多忙かなど、自分が現職の時代にそんなに思わなかった。けどどうしてなのかとこれをずっと思いながら、確かに最後にお話しなされたフッ化物の件も、低学年は非常に時間がかかるんですね。何事も低学年になればなるほど、給食の準備から、やはり自分たちだけではできないので、最初のころは5年生、6年生が手伝うとか、それを習いながら、ご飯を食べるのにも、5分なら5分で食べると、給食ですね。その多忙化はありましたけれども、でも慣れたらまたできる、子どものためにどうしたらいいかといろいろな工夫が考えられる。それがすぐできないとするのではなくて、どうしたらできるかというのが今の研究会で、校長会等もそうですが、それぞれの分科会でどうしたらできるかと、いつもどうしたらできるかを考えようという研究会が行われていると思います。それで、そのようなこともいい案がお互いあると、委員会からもそうですが、何かの機会に、例えば入学時の保護者会、必ずその後にあるんですね。そういう機会に、委員会からの、教育委員ではなくて、挨拶以外の、何かそういうところが、全体が必ずそろそろはその場所なのです。入学式。それ以外は全員が参加するのは難しい。何かそういう機会ができたらいいいのかなと、どのようにしたらいいのかという考えをしたときに、そのようなことを、私たち教育委員会としても考えていくのがいいのかなと思いました。

それから空手会館、実は私、まだ行ってないんです。それでちょっと恥ずかしいのですが、学校の子どもたち、生徒、そこの活用とか言っている場合ではないかと、自分自身がまだそこへ行ってないので、教育委員として訪問しながら、場をしっかりと見学しながら進められるといいのかなと、自分自身に、その辺がいけないなと思いました。以上です。またよろしくお願ひいたします。

議長(市長)

ありがとうございました。

それでは安里委員、よろしくお願ひします。

安里委員	私的には、教育委員として2年目なのですが、市長が子どもたち、地域のためにやっていく上で方針を決めて、今この場にいると思います。先ほど、照屋教育長から、私も学校をバックアップする立場として、一緒に頑張っていこうと思っています。そのためには、子どもたちが健康で、本当に体に不自由もなく、食、知恵とか体づくりもいろいろサポートしていけたらなど、一生懸命頑張っていこうと思います。子どもも含めて、さらに親御さん、子どもを育てていく中で、それも一つの課題としてよくなっていけるように、それが市民全体に広がって、明るく、楽しく、そういう豊見城市に広がっていくように頑張っていけたらいいなど、今思っています。自分がどうするわけではなくて、やはりこの現場でいろいろな意見を聞いて、サポートしながら、自分の意見を言える場所にしていきたいと考えておりますので、よろしく申し上げます。以上です。
議長(市長)	ありがとうございました。 それでは続けて、惣慶委員お願いします。
惣慶委員	豊見城市で教育を受けてよかったと思ってもらえるような、どの子ども、家庭環境とかそういうのに左右されることなく、安心安全に教育を受けられる環境とか質を整えていただけるのではないかとということで、大変楽しみにしております。私も学校をバックアップしていく立場として、頑張らせていただきたいと思います。よろしく申し上げます。
議長(市長)	ありがとうございました。 それでは、皆様のご発言を基に議事を進めてまいりたいと思いますが、その他の議題に入っていきたいと思っておりますけれどもよろしいですか。
学校教育課長	事務局から少し、その他の議題ということではありませんが、少し報告をしてさせていただきたいと思っております。よろしいですか。私のほうから報告させていただきますが、この総合教育会議、先ほどのあらましの中でもご説明いたしました、いじめの事案について、前回報告書が出て、その概要についてご説明したところでありますが、その案件につきまして、去る、先月10月12日に遺族の記者会見が開かれて、市、その他を訴える、損害賠償の訴えを起すということで、新聞報道、ご存じのところだと思います。訴状のところは、いつ来るのかということで見えておりましたが、今日、先ほど、会議の前、1時過ぎに訴状が届きました。今後、訴状の内容については、会議前でし

	<p>たので確認が従前できておりませんが、今後、市も訴えられておりましたので、訴状が届いておりますので、今後、控訴をしていくことになっていくと思いますので、これは動向を踏まえて、今後確認をしながら、市長、教育長、委員の方々にも情報提供をしながら、動向については調整していきたいと思っております。現時点では、訴状が届きましたということで報告させていただきたいと思っております。一応、総合教育会議の中でもいじめについては扱うべき大きな案件になっておりますので、報告させていただきたいと思っております。以上です。</p>
議長(市長)	<p>それではそのほかに何か、今までの発言を踏まえて、ご意見がありましたら。はい、どうぞ、荷川取委員。</p>
荷川取委員	<p>ちょっとお願いがあるのですが、本市の場合は特別支援教育の支援員、それから学力向上支援員、それからそのほか、たくさんの支援員が、今学校現場に配置されておりましたので、学校からは本当にありがたいと。そこがあるおかげで何とか子どもたちも落ち着き、生徒指導も全てですが、学力もそうです。そういったところはすごくいいなということで、必ず学校側からはそういう話が出てきます。それで、また引き続き支援員等に関する、特別支援教育はもちろんのことですが、そのほかの支援員も、またこれまで同様、できたらまたよろしくお願ひしたいと思います。以上です。</p>
議長(市長)	<p>ありがとうございます。</p> <p>その他、ご意見ございませんか。事務局からは大丈夫ですか。ほかにも。よろしいですか。</p> <p>それでは、協議事項は以上となります。今回行われた平成30年度第2回豊見城市総合教育会議を閉会とします。皆様、お疲れさまでした。ありがとうございました。</p>